

平成29年度(公財)北海道サッカー協会

ユース3級審判員研修会① 報告

開催期間 : 平成29年9月8日(金)～9月10日(日)

使用大会 : 2017日韓交流U12サッカー大会

会場/宿泊 : 札幌サッカーアミューズメントパーク/札幌サンプラザ

参加審判員 : 北海道各地区所属のサッカー3級審判員(U18)7名

インストラクター : (公財)北海道サッカー協会所属サッカー2級インストラクター 他

～研修会テーマ: Survival(サバイバル)～

(公財)北海道サッカー協会では、ユース審判員研修会を、9月と3月の年2回開催しています。

12月に開催される第41回全日本少年サッカー大会(鹿児島県)では、全試合を通して1人審判制が採用されることから、9月に開催した本研修会においても、実技(試合)研修で、全ての試合で1人審判制を取り入れて行いました。

試合中に起こる全ての事象に対する判断を主審が1人で行うため、主審には、これまで以上に的確な判断と責任が求められることとなります。また、選手自身も1試合1試合を勝ち抜くために日々トレーニングし、各ブロックを代表してこの大会に臨んでいます。



そこで、U18審判員も、自分が委ねられた試合を試合開始から終了まで責任をもってコントロールするため、また、日々のトレーニングを大切にするという点から、研修テーマを「Survival(サバイバル)」としました。(Survivalには、「安全な場所を確保する」、「的確に状況を判断する」という意味もあります。)

1日目の研修では、本研修会のテーマが意味するところの講義や、グループワーク等を通して、試合に向けての心身の準備を行いました。

2日目は、実技研修終了後に、プラクティカルトレーニング、フィジカルトレーニング等を実施しました。また、夕食後のセッションでは、実技研修の振り返りを行うとともに、「ペナルティエリア付近でのフリーキックマネジメント」についての研修を行うことを通して、主審が試合で行うべきことについて整理することができました。

3日目は、順位決定トーナメントになり、よりの的確な判定とコントロールが求められることになりましたが、主審を担当したU18審判は、選手のために、研修会で学んだことを、フィールド上で最大限発揮しようと努めていました。

今年も、各チームの指導者の方、運営のスタッフの方をはじめとするサッカー関係者のご理解とご協力のもとに、研修会を終えることができました。心より感謝を申し上げます。

